

平成 27 年度入学者選抜学力検査問題

国 語

注 意

- 1 監督者の「始め」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 検査時間は、9時25分から10時15分までの50分間です。
- 3 大きな問題は全部で5問で、表紙を除いて7ページです。
また、別に解答用紙が、(1)、(2)の2枚あります。
- 4 監督者の「始め」の合図があったら、すぐに受検番号をこの表紙と解答用紙
(1)、(2)のきめられた欄に書きなさい。
- 5 答えは、必ず解答用紙のきめられた欄に書きなさい。
また、特に指示のあるもののほかは、各問いの**ア**、**イ**、**ウ**、**エ**のうちから
最も適当なものをそれぞれ一つ選んで、その記号を解答欄の()の中に書
き入れなさい。
- 6 答えの字数が指示されている問いについては、句読点や「 」などの符号
も字数に数えるものとします。
- 7 監督者の「やめ」の合図があったら、すぐやめて、筆記用具をおきなさい。

受 検 番 号

番

1

次の1から7までの問いに答えなさい。

1 次の——線の部分の読みをひらがなで書きなさい。

(1) 住居を定める。 (2) 意見を募る。

(3) 形式を模倣する。 (4) 過去を顧みる。

(5) 昔の名残を感じる。

2 次の——線の部分を漢字で書きなさい。

(1) スジの通った説明。 (2) ベンリな道具。

(3) 畑をタガヤす。 (4) ハクラン会に行く。

(5) オンダンな気候。

3 「多くの流星が観測された。」という文を単語に区切った場合、最も適切なものはどれか。

ア 多くの／流星が／観測された。

イ 多くの／流星／が／観測さ／れ／た。

ウ 多くの／流星／が／観測され／た。

エ 多くの／の／流星／が／観測され／た。

4 次の——線の部分について適切に説明したものはどれか。なお、

お、**A**・**B**は人物を表している。

Aが**B**にお礼を申しあげた。

ア 尊敬語で**A**への敬意を表している。

イ 謙譲語で**A**への敬意を表している。

ウ 尊敬語で**B**への敬意を表している。

エ 謙譲語で**B**への敬意を表している。

5 国語の授業で、「庭」という漢字の成り立ちを漢和辞典で調べようとしている。次の会話の(①)、(②)、(③)に入る語の組み合わせとして適切なものはどれか。

生徒 「『庭』の部首は(①)ですか。」
先生 「そうです。部首は漢字の(②)に関係することが多いです。」

生徒 「総画数で探すこともできますよね。」
先生 「できます。総画数は(③)画です。音訓読みでも探せます。」

6 次の——線の部分に用いられている表現技法はどれか。

ア ① まだれ ② 意味 ③ 十

イ ① しんによう ② 意味 ③ 十

ウ ① まだれ ② 読み ③ 九

エ ① しんによう ② 読み ③ 九

たんぼぼたんぼぼ砂濱すなはまに春はるが目を開く
(荻原井泉水)

ア 体言止め イ 倒置 ウ 擬人法 エ 反復

7 次の漢文の書き下し文として正しいものはどれか。

恨シテ別ハレ鳥ニモ驚カス心ヲ
(杜甫「春望」から)

ア 鳥にも別れを恨んでは心を驚かす

イ 別れを恨んでは鳥にも心を驚かす

ウ 鳥にも心を驚かす別れを恨んでは

エ 別れを恨んでは心を鳥にも驚かす

次の文章は、^(注1)鼓の名人と呼ばれた^(注2)新九郎が、まだ権九郎と名乗っていた時の話である。

これを読んで、1から5までの問いに答えなさい。

近き頃名人と称し、^(注3)公よりも^(注4)紫調給はりし新九郎事、権九郎といひし頃、日々鼓を^(注5)出精しけれども未だ心に落ちざる折から、年久しく召仕ひし老女、朝々茶など持て来たり権九郎へ給仕しけるが、或時^(注6)申しけるは、「主人の鼓も甚だ^(注7)上達」のよし申しければ、権九郎もおかしき事に思ひて、「女の事常に鼓は聞けど手馴れし事にもあらず。我が職分の上達を知るわけ」尋ね笑ひければ、老女答へて、「我乱舞の事知るべきやうなし。^(注8)」しかしながら親新九郎の鼓を数年聞きけるに、朝々煎ける茶釜へ音殊に響き聞こえ侍る。是まで権九郎の鼓はその事これなきところ、この四、五日は鼓の音毎に茶釜へ響きける故、さてこそ上達を知り侍る」と答へけるとなり。年久しく耳馴るれば自然と微妙に、よし悪しも分かるものと、権九郎も感じけるとなり。

〔「耳囊」から〕

(注1) 鼓||能楽で使われる打楽器。

(注2) 新九郎||親から子、師から弟子に引き継がれる名前。

(注3) 公||將軍。

(注4) 紫調||將軍が鼓の名人に与える、鼓に付けるひも。

(注5) 出精||精を出して努める。

(注6) 乱舞||能楽。

(注7) 茶釜||茶を煮出すのに用いる釜。

1 やうなし は現代ではどう読むか。現代かなづかいを用いて、すべてひらがなで書きなさい。

2 未だ心に落ちざる折から の意味として、最も適切なものはどれか。

- ア まだ自分で美しいと思える鼓を作れないその時に
イ まだ自分で納得できる鼓の音が出せないその時に
ウ まだ自分で鼓の稽古を好きだと思えないその時に
エ まだ自分で誰が鼓の名人か判断できないその時に

3 主人 とはだれのことか。

- ア 権九郎 イ 公 ウ 老女 エ 親新九郎

4 その事これなき とあるが、どのようなことがなかったというのか。文末が「こと。」になるように、十五字以内の現代語で書きなさい。ただし、文末の言葉は字数に含めない。

5 本文の内容と合うものはどれか。

ア 芸の上達に悩む人は、その道の名人の助言を聞くことで、練習方法のよし悪しに気付くことがある。

イ 一人で芸の練習をしてきた人は、他者と競い合った時に、自分の技量のよし悪しに気付くことがある。

ウ 経験を重ね一つの芸に精通した人は、他の芸を一見するだけで、腕前のよし悪しに気付くことがある。

エ 長い間芸に身近に接し続けてきた人は、自分が習っていないくても、芸のよし悪しに気付くことがある。

次の文章を読んで、1から6までの問いに答えなさい。

目の前にある事実を言葉で描写するという場合を考えます。「テーブルのうえにりんごがある」。これは「言葉になる」ことだ、と言つてよいでしょう。次に、「テーブルのうえに赤いりんごと青いりんごがある」、これも同様です。しかし、その赤さ、その青さなどのような赤さであり、どんな青さなのか、と問われると、途端に言葉に窮します。静物画家ならば、その赤、その青をキャンヴァスに描くでしょう。それは言葉を越えた次元だ、と言うこともできません。それでも、言葉によってそれを捉えようとする試みは続くでしょう。それが「うた」になる、というわけです。⁽¹⁾こんなに簡単なことが、言葉になる／ならない、の境界になるのです。そうだとすると、一見したときの印象とは異なり、《言葉にならない》ものの領域はとてつもなく広い、ということになるように思われます。では、この場合、言葉になる／ならないの違いはどこにあるのでしょうか。何かが「ある」という事実は言葉になり、それが「どのよう」にあるかという有り様は言葉にならない、あるいは少なくともなりにくい、と言えるでしょうか。□、単にりんごが赤い／青いということも、有り様を言い表わしているのです。逆に「ある」という事実の方だつて、いまだかつて見たことのない怪物、というようなおどろおどろしいものを持ち出すまでもなく、路傍の野の花でさえ、名前を知らなければ、言葉で伝えることが難しくなります。そのとき課題は、それがどのような花であるかという「有り様」の描写へと回送されますが、もはや青いか赤いかというような既成の単語を適用するだけで済まないのは、明らかです。では、既成の単語を適用するだけで済むのは、どのような場合でしょう。日常生活において、実用的なコミュニケーションを行う、^(注)ということではないでしょうか。果物屋さんの店先で、スターキングではなくゴールデン

デリシャスを手する、というような場面の必要性に応えるものが、⁽²⁾「普通の言葉」にはあります。そのような場面では、ゴールデンデリシャスの「青」が、マスカット・オブ・アレクサンドリアの「青」とどのように違うのか、というような微細な区別は必要ありません。この実用を超えた区別は、ただ画家の意識を占めるにすぎないもの、ということになります。

問題は、どの程度の識別を求めるかという網の目の細かさにあります。果物屋の店頭で用いる網は目が粗いのに対して、画家は極めて細かい網の目を用意しているわけです。ですから、現象のうえでの違いはアナログ的に連続している、と言うこともできませんし、それが正確だとも言えるでしょう。しかし、おおよその境目が、実用性の意識にある、ということもたしかないように思われます。生命の進化のなかで言語が発生してきた、という次元で考えるなら、そのことは明らかです。生命にとって必要な基本的な言語は、「敵が来たぞ、逃げる」とか、「ここに食料があるぞ、みんな集まれ」というような発話でしょう。これらは、いわゆる動物の言語にも見られる基本的な言葉です。⁽³⁾人間の言葉が動物の言葉と違ってきたのは、生命の必要を超える必要を人間がもった、ということに由来します。それは、共感の次元のことです。喜びや辛さ⁽⁴⁾を共にすることから始まり、感情や見方を共有することの喜びを必要としたことによつて、人間は動物の境遇を超えたのです。そして、この必要とされたコミュニケーションの幅が語彙となつて定着したのです。ですから、「実用性」の境界は曖昧です。個人によつても、文化によつても、また、事柄によつてもさまざまです。しかし、その境界があることは明らかで、その違いは、表現に工夫が必要かどうか、ということにあります。⁽⁴⁾ときには、分かつたつもりになつてゐる単語の情性に逆らつて、その事態を分析してみることも必要になります。

表現の工夫ということは、これを詩や芸術の次元と結びつける考
え方を裏付けてくれます。しかし、芸術だけの特殊な事柄だと思っ
たのは禁物です。恋をするとひとは詩人になる、という言い方を誰
も聞いたことがあるでしょう。自分の感情が独特なもので、普通の
表現ではそれを伝えることができないと思ひ、なんとかそれを伝え
たいという気持から、表現の工夫を試みる、ということとはたしかに
あります。実際の成果がどのようなものかは別として、その工夫を
詩になぞらえるという事実は、この実用的言語を超えた次元が芸術
と親近性をもっていることの証拠になります。しかし、われわれの
生きている現実がどのようなものであるかをいわんとして、たとえ
話を使ったり、妙な造語をひねり出したりする哲学者も同じ課題を
背負っています。また、新しい物質を発見する科学者もまた、既存
の言葉の誘惑を振り切つて、《言葉になつていないものの存在を認
める》ことができたからこそ、その発見に到りえたのに違いありま
せん。⁽⁵⁾ 常識的な網の目をさらに細かくすることに、知性の営みも、
文化的な活動もかかっているのです。

(佐々木健二「美学への招待」から)

(注1) スターキングリングゴの一品種。ゴールデンデリシャスもリン

ゴの一品種。マスカット・オブ・アレクサンドリアはブドウの一

品種。

(注2) アナログ的＝連続して緊密な関係でつながっていること。

- 1 こんなに簡単なこと とは、具体的にはどのようなことか。
- (1)
- ア 目の前のりんごをテーブルに置くかどうかということ。
- イ 目の前のりんごを絵に描き表せるかどうかということ。
- ウ 目の前のりんごを言葉で表現できるかどうかということ。
- エ 目の前のりんごを一目で数えられるかどうかということ。

2 に当てはまる語はどれか。

ア しかし イ そして ウ または エ だから

3 「普通の言葉」とは、どのような言葉か。文末が「ための言
葉。」となるように、本文中から二十五字以内で抜き出しなさい。
ただし、文末の言葉は字数に含めない。

4 人間の言葉が動物の言葉と違つてきた とあるが、なぜか。三
十字以内で書きなさい。

5 分かつたつもりになつてゐる単語の惰性に逆らつて、その事態
を分析してみること の例として最も適切なものはどれか。

- ア 生まれた猫にどんな名をつけようかと家族に相談すること。
- イ 消防車を指さして幼児が「ブーブー(乗用車)」と喜んだこと。
- ウ 新聞の見出しを縦書きにするか横書きにするか迷うこと。
- エ 友達が「微妙」と言つた出来事が本当に「微妙」か考えること。

6 常識的な網の目をさらに細かくすることに、知性の営みも、文
化的な活動もかかっている とあるが、その説明として最も適切
なものどれか。

- ア 知性の営みや文化的な活動の進展は、芸術だけでなく哲学や
科学に親しもうとする態度を持ち続けることにかかつてゐる。
- イ 知性の営みや文化的な活動の進展は、常識となつてゐる考
方を次の世代に伝えようと力を合わせるにかかつてゐる。
- ウ 知性の営みや文化的な活動の進展は、既存の言葉では表現で
きないものを表現しようと工夫し続けるにかかつてゐる。
- エ 知性の営みや文化的な活動の進展は、今は消えてしまつた言
葉のよさを確認しようとして過去をみつめるにかかつてゐる。

母はうれしそうに微笑ほほえんでから言った。

「何言ってるの。相変わらずヒコベエは単純だねえ。お前の名を書かなかつたのが一人だけいたけど、それがヒコベエだということを知っているのはお前だけだよ。」

ヒコベエはなるほどと思った。役所から帰った父に母の話をした。父は面白がって言った。

⁽⁴⁾「お母さんにしてはいい所に気付いたなあ。でもね、五十と四十九は全然違うんだよ。四十九人の場合は確かにお母さんの言う通りだが、満票だと確実にヒコベエが自分に投票したことが分かっています。だからこの一票の差は大きいんだよ。ヒコベエの感じた通り、黒と灰色は全然違うんだよ。」

⁽⁵⁾ヒコベエは、学級委員長になったことが心の底からうれしくなつた。

(藤原正彦「ヒコベエ」から)

(注) 統御_ニ全体をまとめ、コントロールすること。

1 ⁽¹⁾ 口を尖らせて とあるが、ここに表れているヒコベエの気持ちとして、最も適切なものはどれか。

- ア 兄に見くだされたことに対する不満。
- イ 兄に先を越されたことに対する落胆。
- ウ 兄におだてられたことに対する驚き。
- エ 兄にとがめられたことに対する恐れ。

2 ⁽²⁾ 自分の名を書いちゃあいけない選挙なんて、世界中どこにもありやしないわよ とあるが、母がこのように言ったのはなぜか。

- ア 学級委員になれるか不安がるヒコベエが不思議だったため。
- イ 名前を書くことをためらうヒコベエを理解しかねたため。
- ウ 選挙で満票をとることに執着するヒコベエに困ったため。
- エ 名前は書かないと頑固に言い張るヒコベエに失望したため。

3 文中の A、B に当てはまる語の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

- | | | | | | |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ア | A — 難 | B — 易 | イ | A — 苦 | B — 楽 |
| ウ | A — 大 | B — 小 | エ | A — 名 | B — 実 |

4 ⁽³⁾ この時ほど安堵あんどしたことはなかった とあるが、ヒコベエが安堵したのはなぜか。四十字以内で書きなさい。

5 ⁽⁴⁾ お母さんにしてはいい所に気付いたなあ とあるが、母が気付いた「いい所」とはどのようなことか。四十五字以内で書きなさい。

6 ⁽⁵⁾ 学級委員長になったことが心の底からうれしくなつた とあるが、なぜか。

- ア ヒコベエの解決できない悩みを父が聞いてくれたため。
- イ ヒコベエの考えは未熟だったと父が叱ってくれたため。
- ウ ヒコベエの判断は適切だったと父が認めてくれたため。
- エ ヒコベエの慎み深い振る舞いを父がほめてくれたため。

5

新聞の投稿欄に「いつまでも大切にしたい伝統」というタイトルで
意見文を投稿することにした。次の《注意》に従って投稿する文章を
書きなさい。

《注意》

- ・ 具体例を挙げて書くこと。
- ・ 自分の考えとその理由を明確にすること。
- ・ 国語解答用紙(2)に二百四十字以上三百字以内で書くこと。